

利用者、職員が地域社会の中でともに働き・活動することにより障害理解を促進し共生社会の実現を図る

就労支援事業においては、大幅な最低賃金上昇の連続と施設外就労における加算廃止などA型事業の運営を大きく揺るがす制度変更等があった。さらに飲食の提供を主たる業務とするネバーランド各店舗がコロナ禍により長期休業や利用客の外出控え等など想定外の社会環境の変化に伴い、一部店舗の閉店や事業変更、新たな業務受託等による大胆な経営改善に取り組んだ。

赤字続きの地域活動センター事業は、生活介護へ事業転換し、重度・高齢化する利用者のニーズに対応すべく、より手厚い人員配置を行いサービスの質の向上を図った結果、報酬増となった。また、ヘルパーを派遣する居宅介護、行動援護、移動支援等については、ヘルパー職員の不足により希望に応じた派遣が困難になるなど、全国的なヘルパー不足によりニーズはあっても、支援を届けられない状況が続いていることから、赤字の解消を図ることはできなかった。

一方、連続赤字のまーち♪については、役員会や評議員会で存続について何度も議論されたが、赤字の理由は、保育園や幼稚園等への通園を当法人が積極的に進めてきたことにある。保育園等の利用日数を段階的に増やすために必要な支援に力を入れ、多くの卒園者を送り出してきた結果、10名/日の利用定員に対して1~2名/日となった。

同様に、B型も平成26年から毎年就職者を送り出し、計34名が社会で働いている。経営面での反省は残るが、どのような困難な環境下においても、利用者・職員がともに協力して力を発揮し、共生社会の実現を目指すことはできた。

①適性と希望に応じた就労支援・就職支援

- B型から一般就労等への適性に応じた移行支援
- 安全・衛生・適性に着目した作業内容の見直し
- 目標工賃達成による就労意欲・技能の向上支援
- 就職者への広報紙等による交流・定着支援

- 希望の一般就労先へ就職（コンチェルト1名）
- 「ネバーランド府内店」の担当事業所を変更し、新たな職種や場所へ通うことにより、就労意欲・技能の向上を図り大幅に平均工賃を向上（コンチェルトもりまち）
- 感染が続いていたため、就職者の現況を広報紙「シンフォニータイムズ」への掲載を通して交流・定着を図った

②個々に応じた社会生活・日常生活の支援

- 体験機会の提供による必要な生活力の向上支援
- 「社会生活支援事例集」等による活動内容の拡大

- △各事業での具体的な取り組み報告を参照

③緊急時の医療連携計画の策定と活用

- 救急搬送～受診・入院・治療・退院までに必要な連携支援・情報の取りまとめと活用できる体制づくり

- 通院同行時や、緊急搬送時等に病院から聞かれたことを情報収集し、必要な情報の一覧作成を開始

④感染症（新型コロナウイルス等）対策の継続

- 手洗い・換気・適切な距離など基本対策の徹底
- 場面に応じた必要時のマスク着用支援

- ×マスク着用・手洗い励行・換気・黙食等の基本対策を徹底するとともに利用者・職員・来訪者の検温やアルコールによる手指消毒を徹底したが感染拡大。ゾーニングや支援者の勤務体制を大幅に見直して収束に至った。

- 10月28日より希望する市内の障害者・家族・職員が接種できるよう、7回目のワクチン接種会場運営を実施

⑤ 職員の専門性向上と働きやすい職場づくり

- 専門性向上のための基礎研修の実施
 - 理念や組織、事業の目的・内容の理解促進
 - 実践発表等によるサービスの質と意識の向上
 - 資格取得や専門研修等受講への支援
- 他職種・他事業における業務内容の理解促進
 - 体験実習、通常業務の実践報告
- 経験・年齢・時間・適性等を活かした職場づくり
 - 定年や再雇用・役職等に関する検討開始

- 出発式終了後、全職員への研修会において、法人の理念や事業の目的等について、具体例を挙げて理解を図った
- ◎ 虐待や身体拘束等の防止に向け、委員会を構成する職員自らが利用者や支援者の役を演じ、初任者でも理解しやすい事例動画を作成することにより理解が大きく進んだ
- ◎ 希望する職員に対し学習機会を提供したことにより、2名の国家試験受験者（介護福祉士）が合格した。
- 法人内の他所属で実習することにより、他職種・他事業への理解を通して、働きやすい職場づくりを進めることができた
- △ 年2回、アンケートによる異動や勤務時間の短縮・延長、退職希望等の聞き取りを実施しているが、面談を並行するほうが仕事に対する熱意・喜び・希望・不安・悩み等をより理解しやすいことから、次年度は希望する職員から面談を実施したい

⑥ 居住環境・支援環境の充実・整備

- 水回りやカーテン等の経年劣化による改修工事
- 職員の介護負担軽減と労災予防対策

- × 不具合が出た箇所から補修や取り換えを実施しているが、部品入手が困難な物が多く、大規模改修が必要な時期を迎えている
- 一例としてGHでは、高齢化によりベッドの手すりや高さ変更など、寝起きに介助が必要になった場合、介護用ベッドの導入により、ご本人の身体的負担の軽減を図っているが、結果として介護者の負担軽減と労災予防にもつながっている

⑦ 役員会等の開催予定

- 理事会 : 6月 11月 2月
- 評議員会 : 6月 3月
- 福祉サービス運営委員会 : 6月 3月

- 必要があり、予定よりも招集回数が増えたことで役員等には負担をかけたが、理事・監事・評議員の発言機会が増えたことにより、知見に基づく積極的な議論が行われ、法人運営が活性化した
- 理事会 : 5月・6月・10月・1月・2月 計5回開催
- 評議員会 : 6月・11月・1月・3月 計4回開催
- 福祉サービス運営委員会 : 11月・3月 計2回開催

(1) 理事会開催実績			第3回	第1号議案 令和5年度第一次補正予算(案) 第2号議案 こどもデイサービスまーち♪の今後の運営について 第3号議案 評議員会の招集について	□理事 加藤 英彦 大戸慎一郎 惣川 一昭 村上 和子 矢野 太亮 □監事 林 浩治 水之江正博
開催日	実施内容	出席者	令和5年 10月19日 (木)	[報告] ①業務報告 ②理事長専決事項	
第1回 令和5年 5月31日 (水)	第1号議案 令和4年度事業報告 第2号議案 令和4年度決算報告 貸借対照表 資金収支計算書 事業活動計算書 財産目録 附属明細書 ・監事監査報告 ・総資産の登記 ・社会福祉充実残額 第3号議案 新理事候補者の選定 第4号議案 新監事候補者の選定 第5号議案 評議員選任・解任委員会の招集 第6号議案 評議員の選出 欠員補充 第7号議案 評議員会の招集 [報告] ①業務報告 ②理事長専決事項 ③保険加入について	□理事 加藤 英彦 大戸慎一郎 村上 和子 矢野 太亮 森淵 晶子 □監事 林 浩治 水之江正博	第4回 令和6年 1月16日 (火)	第1号議案 定款変更 第2号議案 経理規程変更 第3号議案 公印規則変更 第4号議案 評議員選任・解任委員会運営規則変更 第5号議案 中央支援学校給食調理業務受託について 第6号議案 評議員会の招集 [報告] ①業務報告 ②理事長専決事項	□理事 加藤 英彦 大戸慎一郎 惣川 一昭 村上 和子 矢野 太亮 森淵 晶子 □監事 林 浩治 水之江正博
第2回 令和5年 6月16日 (金)	第1号議案 理事長の選定	□理事 加藤 英彦 大戸慎一郎 村上 和子 矢野 太亮 森淵 晶子 惣川 一昭 □監事 林 浩治 水之江正博	第5回 令和6年 2月22日 (木)	第1号議案 令和5年度第一次補正予算(案) 第2号議案 こどもデイサービスまーち♪の今後の運営について 第3号議案 評議員会の招集について [報告] ①業務報告 ②理事長専決事項	□理事 加藤 英彦 大戸慎一郎 村上 和子 矢野 太亮 森淵 晶子 □監事 林 浩治 水之江正博

(2) 評議員会開催実績		
開催日	実施内容	出席者
定時評議員会 令和5年 6月16日 (金)	<p>第1号議案 令和4年度決算報告 貸借対照表 資金収支計算書 事業活動計算書 財産目録 ・監事監査報告 ・総資産の登記 ・社会福祉充実残額</p> <p>第2号議案 理事の選任 第3号議案 監事の選任</p> <p>[報告] (1) 令和4年度事業報告 (2) 保険加入について</p>	<p><input type="checkbox"/>評議員 軸丸 勇士 寒田久美子 柏 敏宏 仲野 龍男 惣川 一昭</p> <p><input type="checkbox"/>監事 林 浩治 水之江正博</p>
第2回 令和5年 11月21日 (火)	<p>第1号議案 令和5年度第1次補正予算(案) 第2号議案 こどもデイサービスまーち♪の今後の運営について</p>	<p><input type="checkbox"/>評議員 軸丸 勇士 寒田久美子 柏 敏宏 塩崎 政士 仲野 龍男 多嶋田誠一 田崎 孝</p> <p><input type="checkbox"/>監事 林 浩治 水之江正博</p>

第3回 令和6年 1月25日 (木)	<p>第1号議案 定款変更 第2号議案 中央支援学校給食調理業務受託について</p> <p>[報告] ・法人指導監査結果 ・まーち♪推移</p>	<p><input type="checkbox"/>評議員 軸丸 勇士 寒田久美子 柏 敏宏 塩崎 政士 仲野 龍男 多嶋田誠一</p> <p><input type="checkbox"/>監事 水之江正博</p>
第4回 令和6年 3月13日 (水)	<p>第1号議案 令和6年度事業計画(案) 第2号議案 令和6年度収支予算(案) 第3号議案 令和7年度以降事業計画 大規模改修工事 グループホーム新設</p> <p>[報告] 令和6年度出発式</p>	<p><input type="checkbox"/>評議員 軸丸 勇士 寒田久美子 柏 敏宏 塩崎 政士 仲野 龍男 田崎 孝</p> <p><input type="checkbox"/>監事 林 浩治 水之江正博</p>
(3) 評議員選任・解任委員会開催実績		
開催日	実施内容	出席者
令和5年 6月16日 (金)	第1号議案 評議員の選任	<p><input type="checkbox"/>委員 林 浩治 山崎登代子 立山いづみ</p>

(4) 監査			令和6年 3月13日 (水) 13:15~ 13:55	第2回福祉サービス運営委員会 1、令和5年度の報告 2、その他	水之江正博 寒田久美子 柏 敏宏 矢野 孝美 村上 和子 長尾 文人 小曾根希美 花宮 圭祐 木許 照代
実施日	実施内容	出席者			
令和5年 5月22日 (月)	①決算書 ・財産目録 ・貸借対照表 ・資金収支計算書 ・事業活動計算書 ・固定資産管理台帳 ・決算付属明細書 ②事業報告書 他	<input type="checkbox"/> 監事 林 浩治 水之江正博			
(5) 福祉サービスの向上に向けた取り組み					
実施日	取組内容	出席者	令和5年 4月3日 (月)	・「4つの力」、「新年度を迎えて」 ※コンパルホールにて集合研修	
令和5年 5月 令和6年 3月	<i>Symphony Times</i> の発行により、シンフォニーが提供する福祉サービスの内容や実施した行事等の様子などを利用者やその家族に年間通して広報した。 これは、どこで・どのようなサービスが提供されているのかを利用者や家族、法人役員が全事業を通して知ること、シンフォニーのサービス全体をモニタリングし、サービスの質の向上を図ることを目的としている。		令和5年 7月1日 (土)	・「シンフォニー委員会について」 ・処遇改善研修「令和5年度が始まっての感想・これから取り組みたいこと」	
	<input type="checkbox"/> 福祉サービス運営委員会の開催について		令和5年 10月28日 (土)	・衛生研修 ・処遇改善研修「今年度の各チームでの取り組み～経過報告」	
令和5年 11月21日 (火) 11:05~ 12:00	第1回福祉サービス運営委員会 1、委員自己紹介 2、令和5年度11月現在までの相談件数及び相談内容について(ご報告) →苦情、相談・・・0件 3、令和5年度のシンフォニーでの取り組みについて →職員研修を実施 4、その他	水之江正博 寒田久美子 柏 敏宏 矢野 孝美 村上 和子 長尾 文人 小曾根希美 花宮 圭祐 木許 照代	令和5年 11月15日 (水)	・評議員 塩崎氏による講話 「あまのじゃくな私のとりとめのない話」	
			令和6年 2月17日 (土)	・虐待防止・身体拘束適正化研修	

コンチェルト

就労継続支援B型事業

幅広い就労訓練の機会を提供し、多様な働き方を支援することにより就労意欲を引き出し、収益の向上を目指します。

作業の見直しを行い（企業との連携や既存の作業に対して効率を重視する等）、新たな就労訓練の機会と収益の向上に努めた。また、就職説明会への参加や実習を行うことで就労意欲や知識の向上を図った。農作業中に1名が怪我。職員間の危機管理の向上が必要であった。

①就労収益の向上

- ・学校給食の取り組む
- ・企業と連携し「とうがらし」の栽培
- ・目標工賃達成指導員と連携し目標と達成度の確認

○令和5年度、平均工賃月額55,173円（目標工賃45,000円）。新たな取り組みとして、令和6年度より開始する学校給食に向け、令和6年2月より、安全安心の提供に向け衛生研修や動線の確認等に取り組んだ。また、企業と連携し「とうがらし」の栽培に取り組む。経費や病害虫により売上高94,500円。新たな就労訓練を積むことができ大きな効果があった。目標工賃達成指導員とデータ等（収入支出）で振り返り利益確保に取り組んだ。

②求職活動

- ハローワーク等の他機関と連携を強化

○「まずは各種業種の会社名を知る。就労意欲の更なる向上。」を目的に、県が主催する就職面接会に8名参加。また、関係機関と連携し実習に取り組み、保育補助として1名就職することができた。

③健康管理

- 家族や医療機関と連携
- 生活習慣の見直し

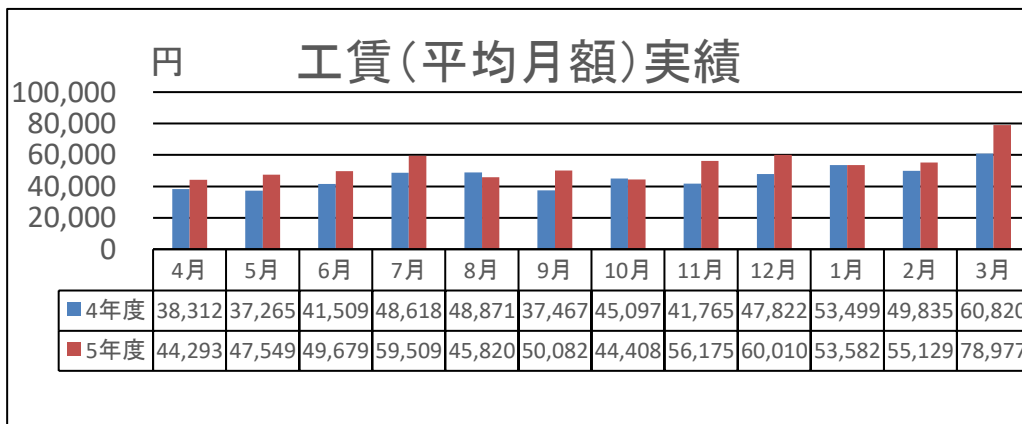
○検温や換気等基本対策を継続。飛沫感染を防ぐため、クイズ形式で説明し理解を深めることができるよう配慮した。
 ×農作業中に1名怪我。こまめな草刈や動線の確保、足場の設置をし安全確保を最優先した。

令和5年度 事業実績

月日	実施内容	人
4/3	出発式	37
5/18	歯科検診	34
6/1-7/4	内科健診	35
6/3	ゆうあいスポーツ大会	10
6/3-24	コロナ予防疫種（6回目）	35
9/29-9/30	研修旅行	26
10/13	あおぞらフェスタ	21
10/21	輪い笑いフェスタ	16
10/26	賀来地区交流会（グラドゴルフ）	16
11/1	インフル予防疫種	26
11/8-19	ときめき作品展	4
1/11	成人祝賀会	20
2/23	賀来公民館祭り	20

利用等実績

定員	男	女	計
45名			
契約者	27	18	45
実利用	26	18	44



増減 新規0名
退所1名(一般就労)

工賃額 平均月額55,173円
(目標月額45,000円)

コンチエルト

就労定着支援事業

企業と利用者との連絡を密にし、悩みや相談があれば解決に向け調整を行い、継続して就労できるよう支援します。

企業が障がい特性を理解し、積極的に採用を進めている中で、より理解を深めて頂けるよう、利用者の特性や強み等を伝え、働きやすい環境作りのアドバイスを行った。また、ビジネスマナーや仕事の習熟度の向上を図り、継続して企業に貢献できるよう支援を行った。

①定着率100%の達成

- 訪問（1回/月）し面談
- 業務内容の確認、合理的配慮の有無

- 定着率100%。退職者0名。新規利用者1名。企業の理解もあり訪問できた（1回/月以上）。
- 訪問時に雇用契約（業務内容等）の確認。勤務態度、仕事の習熟度を確認。本人の疑問に対して雇用主に伝え、解決を図った。また、雇用主から、「伝え方」等の質問があったときは、「合理的配慮」について説明し「リガナ」や「ワト」等で伝える「可視化」について確認を行った。1名「販売登録者」資格を受験。

令和5年度 事業実績

月日	実施内容	人
6月	語ろう会 (中止) シフォンタイム配布	
12月	語ろう会 (中止)	

②他機関との連携

- 相談支援専門員、医療機関等と連携
- 趣味や買い物等プライベートでの楽しみの相談等の確認

- 既往症から訪問時体調の確認を行った。必要に応じて、保護者へ連絡し仕事の様子や体調等を伝えた。
- 「スポーツ大会に向け練習をしている。試験勉強で図書館に行っている」を聞き、公共の場でのマナーについて支援を行った。

3月 懇談会
(中止)
シフォンタイム配布

※契約終了者に対して追加の予防接種（6回目）の案内を行った

利用等実績

	男	女	計
契約者	2	0	2
増減	新規1名 退所1名 (契約満了)		

主な就職先（訪問先）

ドラッグストア（1件）	商品検品、値付け、陳列等
クリーニング（1機関）	リネン類の仕分け洗濯等
大型量販店（1件）	商品検品、値付け、陳列等

仕事内容

ファンタジア

生活介護

日常生活や社会生活、活動の中で考える場を提供し、自己決定力を向上させながら、社会との交流促進を図ります。

活動に選択の幅を持たせ利用者に考える場を作り、自己決定力の向上を図った。また、施設内で施設外活動の訓練を行い、実際に商業施設へ出かけ、外部の方との触れ合いや飲食店、買い物を利用することで社会生活の実践ができた。

- ①自己決定力を向上させる支援
- 意思を汲み取った利用者主体の支援
 - 定期的な職員会議で支援力の向上

- ②社会生活の訓練と実践
- 社会生活力を向上させる訓練
 - 飲食店や商業施設へ出て社会生活の実践

- ③新しい生産活動の模索

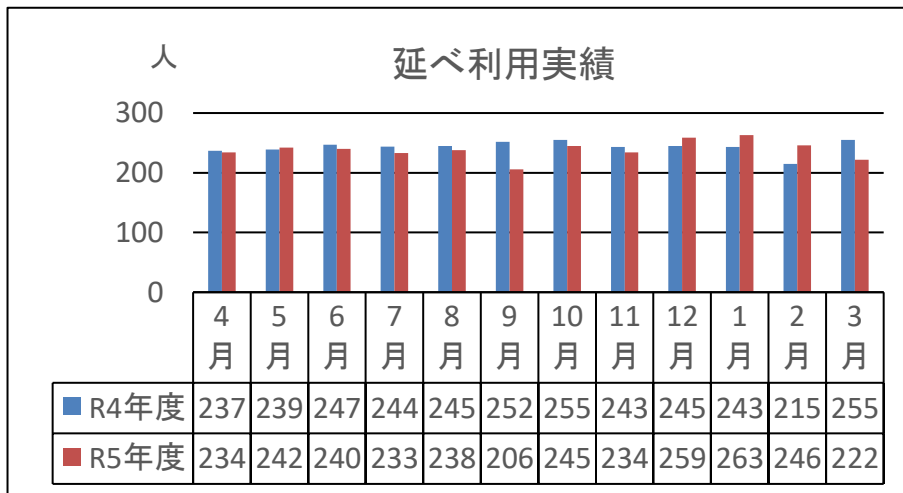
○活動に選択の幅を持たすことで、利用者のやりたいという気持ちを大切にしながら利用者主体となって活動に取り組めた。
△1か月に1回以上の職員会議を行い、利用者の情報共有や支援方法の見直しを図り支援力の向上に努めた。ただ、見守り支援についての職員の意識を統一するまでには至らなかった。

○バス・電車の乗車訓練と実践形式での買い物訓練を2か月に1回行うことにより、施設外活動への訓練を行った。
○イオン、わさだタウンへ外出活動を行い、外部の方と触れ合う機会やレストランを利用し社会生活力を発揮する場を提供した。

○小さな畑を作り、ミニトマト・キュウリ等の栽培を利用者で行い、出来上がった野菜を販売して生産活動に繋がられた。

利用等実績

定員15名	男	女	計
契約者	8	10	18
実利用	8	10	18
工賃額	平均月額489円		
増減	2名減		



令和5年度 事業実績

月日	実施内容	人
4/3	出発式	10
5/18	歯科検診	12
6/1-7/6	内科健診	13
6/3	ゆづあいスポーツ大会	6
6/3-6/24	コロナワクチン接種(6回目)	3
9/29-9/30	研修旅行	7
10/13	あおぞらフェスタ	8
10/21	輪い笑いフェスタ	12
10/26	賀来地区交流会(ゲラド'21)	10
11/1	インフル予防接種	8
11/8-11/19	ときめき作品展	1
11/14	ナイスハート	11
1/11	成人祝賀会	7
2/23	賀来公民館祭り	9

コンチェルトもりまち

就労継続支援B型事業

個々の利用者の適性に合った生産活動に取り組むとともに、様々な生産活動の経験を通し、新たな知識、技術の習得や就労意欲の向上を図ります。

府内店の売り上げが良く、室内の工賃も前年度より向上したため、平均工賃が大幅に上昇した。外出活動を実施し、社会生活力の向上やマナー習得につなげることができた。また作業が落ち着いている時にレクリエーションを行い、リフレッシュする時間を設けることができた。

①安定した工賃の支給

- 職場環境の整備
- 府内店

○府内店での平均工賃月額が51,050円と高く、平均工賃を大幅に上昇させることができた。室内作業では作業環境の見直しを行い、動きやすくなるよう整備を行う。平均で日に450個完成することができ、府内店での売り上げも合わせ目標工賃を達成することができた。

②就労意欲の向上

- 府内店での勤務
- 治具の活用

○府内店での勤務を希望する方に実習を行い、新たな勤務に繋げることができた。
○今まで使用していた治具（包装紙折り用）を改良し、技術力の向上と効率化につなげることができた。

③就職後のフォローアップ

- 定期的な面談の実施

○就職された方から、職場環境に関する悩み相談を受けた。就職先と連絡をとり、間に入ることで問題を解決することができ、勤務の継続に繋がった。月に一度定期的に面談を行う。

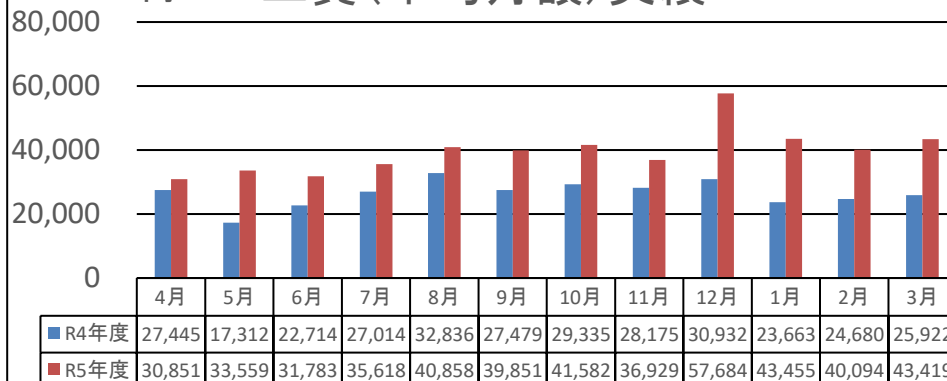
令和5年度 事業実績

月日	実施内容	人
4/1	出発式	15
6/3	ゆうあい杯®-ツ大会	2
5/16-5/19	歯科検診	7
6/3-6/24	コロナワクチン接種（6回目）	9
6/6-6-26	内科健診	11
9/29-9/30	研修旅行	6
10/13	あおぞらフェア	7
10/21	輪い笑いフェア	6
11/8-11/19	ときめき作品展	1
11/13-11/17	インフルエンザ予防接種	10
1/11	成人祝賀会	8
11/30-12/1	外出活動	12
2/23	賀来公民館まつり	6

利用等実績

定員 20名	男	女	計
契約者	11	9	20
実利用	11	8	19
増減	新規7名 退所1名		
工賃額	平均月額39,450円 (目標月額26,000円)		

円 工賃(平均月額)実績



ファンタジアもりまち

生活介護事業

グループごとで外出活動等を行うことで、個々に応じた社会性や日常生活力の向上に繋げることができた。利用者が高齢化する中で、浴槽に浸かることが難しい利用者がいたため、全身が温まるシャワーを新設して入浴環境の改善をはかった。

自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、入浴、排せつ及び食事の介護、創作的活動又は生産活動の機会の提供その他の便宜を適切かつ効果的に行います。

①食事の力

- 食事環境
- 口腔体操

○食事の際の座る位置の確認を行った。正しい姿勢がとりやすいよう補助具を設置するなど環境を改善し、食べやすい姿勢が取れるように改善を図った。
○活動の中で口腔体操を行い、嚥下能力の維持を図った。
○歯科衛生士に歯磨き指導をしてもらい、個々の口腔状況に応じた支援を行なった。

②社会生活支援

- 外出活動の実施

○公共の交通機関を利用した外出活動を実施し、公共の場所での過ごし方やマナーの習得に繋げることができた。外食活動では複数の店舗から行きたい場所を選択してもらい、好きな食事を楽しんでもらうことができた。

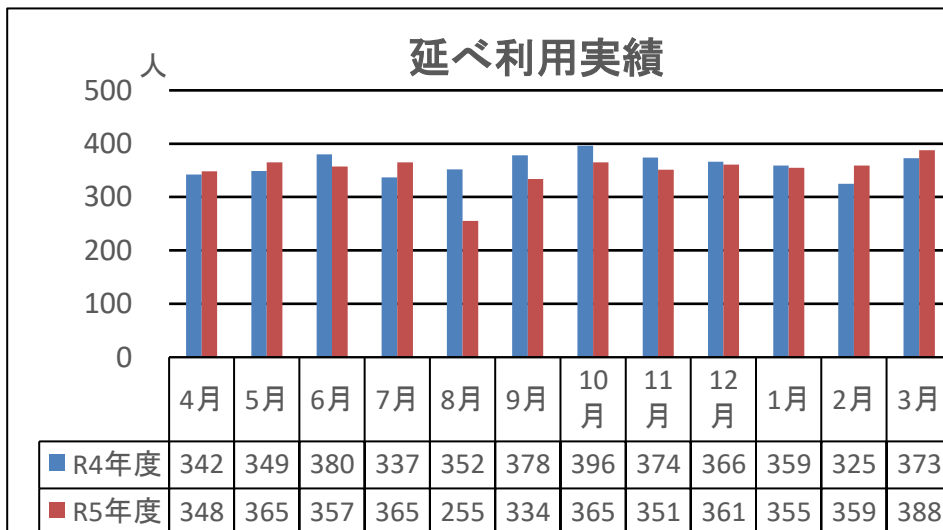
令和5年度 事業実績

月日	実施内容	人
4/1	出発式	15
6/3	ゆうあいスポーツ大会	5
5/16-5/19	歯科検診	15
6/3-6/24	コロナワクチン接種(6回目)	13
6/6-6-26	内科健診	16
9/29-9/30	研修旅行	12
10/13	あおぞらフェア	14
10/21	輪い笑いフェア	12
11/8-11/19	ときめき作品展	9
11/13-11/17	インフルエンザ予防接種	14
11/14	ナイトアート	15
1/11	成人祝賀会	9
2/6-2/22	外食活動	16
2/23	賀来公民館まつり	14

利用等実績

定員20名	男	女	計
契約者	14	6	20
実利用	14	6	20
増減	新規1名 退所1名		
工賃額	平均月額 488円		

延べ利用実績



	R5年度	R4年度
一日平均利用人数	15.7	15.9
年間利用延人数	4203	4331

ヘルパーステーション

居宅介護・行動援護・移動支援事業

- ・家庭において、安心・安全に支援します
- ・一人一人の目的に沿った支援をします

- ・利用者の心身の状況に応じた支援（医療・通所との連携・外出時車いす使用等）支援者全員で共通理解することで情報の共有ができ、安心安全な支援ができた。
- ・事前に目的を伺い、本人の意向に沿った支援ができた。

①安心・安全な生活
（個々の健康管理）
■一人暮らしの方の特定検診

○大分市から配布された特定検診の案内をもとに一人暮らし3名のがん検診（胃・大腸・婦人・前立腺等）を行った。次回は7年度に実施予定。

②個別支援会議・日中活動との連携
（報告・連絡・相談）
■支援中、疑問に思うことがあればすぐに上司に連絡・報告、他所属との連携

○ヘルパー支援は出向くサービスのため、報告・連絡・相談は必ず必要である。支援中に問題点を個人で判断せず、上司に相談する等、より良い支援を提供することができた。

③目的に沿った支援
■支援の改善策を考え、相談します

○通院困難な利用者が行動援護利用（外出支援から施行）により本人・保護者・支援者で通院できた。現在は本人・両親で通院している。
○個々に応じた緊急時の対策（防災グッズや備蓄準備、避難経路の確認）を行った。

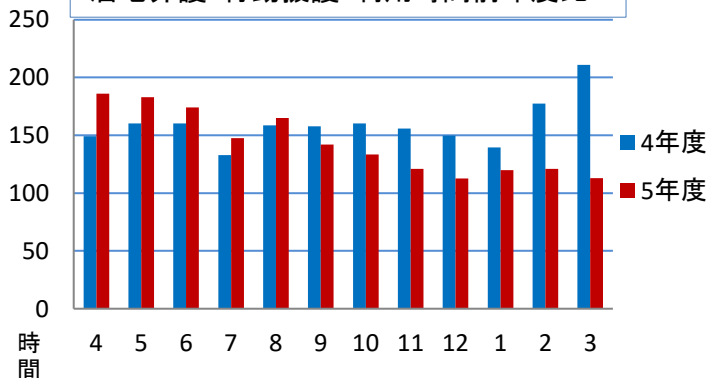
居宅介護・行動援護 ()内前年度増減

	大分市	市外	計	職員配置	
契約者数	42(0)	1(0)	43(0)	管理者	1
実利用数	15(-8)	0(0)	15(-8)	サービス提供責任者	1
新契約数	0(0)	0(0)	0(0)	介護福祉士	13(0)
契約終了	1(-1)	0(0)	1(-1)	ヘルパー2級	2(0)

移動支援 ()内前年度増減

	大分市	市外	計	職員配置	
契約者数	50(0)	1(0)	51(0)	管理者	1
実利用数	21(-8)	0(0)	21(-8)	サービス提供責任者	1
新契約数	0(0)	0(0)	0(0)	介護福祉士	13(0)
契約終了	0(0)	0(0)	0(0)	ヘルパー2級	2(0)

居宅介護・行動援護・利用時間前年度比

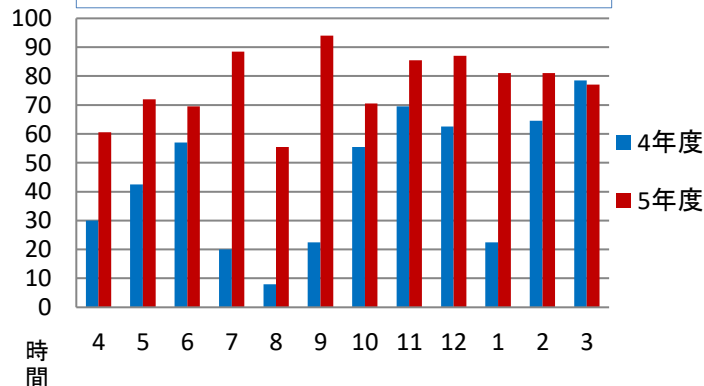


コロナ禍における支援のあり方

支援前の体温チェック
手指消毒の徹底
マスク着用して3密を避ける
一人暮らしの方、室内環境の整備
室内温度、換気

重度訪問介護契約者なし

移動支援 利用時間前年度比



まーち♪

児童発達支援事業

利用児と保護者が、安心して母子分離ができるよう環境作りをし、一人ひとりの成長のペースを大切にしながら支援を行っていきけるよう、職員同士の連携を意識した。また、利用児だけでなく、保護者との関係づくりの大切さを改めて実感する1年間であった。

集団での保育（療育）を通して、児童の発達を促すとともに家族の介護負担の軽減を図ります。

①就園・就学に向けた準備
■日常生活動作の獲得と、社会性を身につけるための支援

○利用児の低年齢化があったため、保護者と子ども達が、初めての母子分離を安心して経験できるよう、環境作りに意識しながら支援に取り組んだ。
○一人ひとりの成長に合わせ、食事や排泄面など、日常生活動作における支援も行いながら、小学校や幼稚園、保育園へ移行することができた。

②専門分野を活かしたチーム支援
■職員それぞれの資格と得意分野を活かしたチーム支援

○手作り玩具や夏祭りなどの活動を行い、様々な場面で職員一人ひとりの得意分野を活かしながら案を出しあえた。また、おやつ作りや野菜作りなど、様々な活動に挑戦することができた。
○後半は利用人数が増え、子ども達の安全を優先し、活動の幅が狭まってしまうことがあったが、その都度、職員同士で話し合い、活動や環境作りの工夫を行った。

令和5年度 事業実績

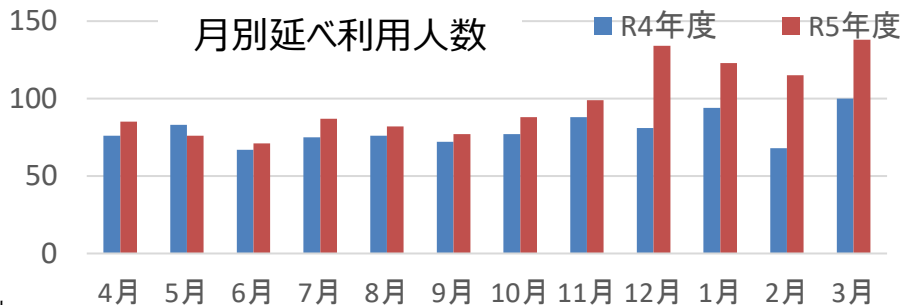
月日	実施内容	人
4/12	ミニトマト苗植え	3
5/26	じゃがいも堀り	3
6/7	6月お誕生日会	4
6/16	おやつ作り	4
7/8	夏祭り	4
7/14	7月お誕生日会	4
8/3	8月お誕生日会	6
10/6	10月お誕生日会	4
11/22	11月お誕生日会	7
12/27	12月お誕生日会	8
1/12	1月お誕生日会	5
3/5	卒園式	7

利用等実績

定員10名/日	男	女	計
契約者	12	5	17
実利用	12	5	17

利用増減
新規 4名
退所 3名

移行実績
保育園 7名
幼稚園 5名
小学校 2名



	R4年度	R5年度
1日平均利用人数	3.6	4.4
年間利用延べ人数	957	1,174

コース

障害者相談支援事業・相談支援事業（特定・障害児・地域）

関係機関と連携して、障害のある方とその家族が安心して暮らすことができるよう相談支援を行います

障害のある方とその家族が安心して暮らすことができるよう、必要な支援体制を整えた。今後も緊急時や災害時を含めて必要な支援が提供できるよう、関係機関と更なる連携強化を図り、地域づくりに努めていく。

①あんしんコール：巡回家庭訪問時にあんしんコールの情報提供を行うことで、緊急時に必要な支援が届けるようになります。

○令和5年度のあんしんコール相談件数24件（+12件）相談があった際は関係機関と連携し、必要な支援に繋げることができた。また巡回家庭訪問時にあんしんコールの説明を行い、チラシを渡すことで周知を図った。

②相談支援事業所の連携強化：相談支援部会で分野別意見交換会を定期開催し、情報の共有をしていきます。
※分野別 ◇児童・医療的ケア児 ◇身体障害◇精神・知的・発達障害

○事例検討会や地区別相談支援部会に加え、分野別相談支援部会を立ち上げることで、更に相談支援事業所と連携を図ることができた。
○分野別で話すことで、より具体的に意見交換や課題の整理等に取り組めた。

③障害のある方やご家族のお困りごとを解決できるよう、サービス利用などのプランづくりや相談支援を行います（計画相談）

○定期的なモニタリング以外でも情報収集や情報提供等を行い、関係機関と連携することで必要な支援体制を整えることができた。

④地域での生活を始め、安心して続けられるよう支援します（地域定着支援）

○一人暮らしを希望する方に対して、不動産会社と同行し一緒に住まいを探したり、一人暮らしを始めたい際に利用できる福祉サービス等の情報を提供している。

令和5年度 事業実績

月日	実施内容	回
6/6	地区別相談支援部会	1
9/21 他	分野別相談支援部会	2
5/9他	相談支援部会	6
8/8他	自立支援協議会	2
10/11 他	こども部会	2
6/6他	こども部会 医療的ケア児支援検討部会	2
8/31 他	障害福祉計画等策定部会	2
3/5他	事例検討会	3
毎月	センター事業所連絡会	12

利用等実績（委託）

	成人	児童	計
実人員	400	268	668
増減	+36	+10	+46
対応件数	2,917 (-55)		

利用等実績（計画）

	契約者数	作成件数 計画	作成件数 モニタリング
特定	196 (-3)	198 (-8)	467 (-15)
障害児	40 (+6)	46 (+8)	86 (+12)
地域	0		

ファミリー

共同生活援助事業

感染症（コロナ）も少しずつ落ち着き外出の制限がある中、短時間でのヘルパー利用することで個々に楽しみを持って生活することができた。またコロナ発症時には素早く、初動隔離等を行い罹患を最小限に抑えることで、住み慣れたホームでの生活を継続することができた。

入居者の余暇を充実させるとともに、必要に応じて関係機関と連携を図り、安心して生活ができるように支援します。

①健康管理

- 看護師を中心に日々の健康観察
- 緊急時の医療機関受診の対応
- がん受診時、主治医との連携
- 定期的な歯科通院

- 看護師を中心に日々の服薬管理等（薬の飲み違いを防止するため、薬ケースを作り変えた）健康観察を行い健康管理に努めた。
- △突発的な緊急時の医療機関受診の対応する為に今後医療シート作成
- 他機関と連携し早期にがんを発見することができ、経過は良好である
- 健康診断・歯科検診結果を元に必要な医療機関を受診できた

②入居者の生活の充実

- 個々の状況に応じ公共交通機関の利用
- 定期的な帰省・面会・墓参り

- △コロナ禍の中、短時間でのヘルパー利用で個々の必要な状況に対応したが、ホームでのバーベキュー等の楽しい行事が企画できなかった。
- 入居者、保護者の希望に応じ帰省・面会・法事等の参加支援を行った。

③高齢化・重度化に対する支援

- 一人ひとりの状態に応じて、必要な場合は関係機関（障害福祉、医師、看護師等）と連携し、安心してホームでの生活が継続していけるよう支援します

- 入居者の状態に合わせて必要な機関（介護保険、訪問看護、重度訪問介護、医師、看護師、市障害福祉課）と連携を図り、住み慣れたホームでの生活を継続することができた。また困った時にすぐに相談できる関係の構築にもつながった。

利用等実績

	中尾	中尾Ⅱ	森町
定員	7	7	14
入居者	6	6	12
平均年齢	53	50	49

ファミリー中尾 10月1名入居
 ファミール中尾 2月1名入居
 ファミール中尾Ⅱ 10月1名入居
 ファミール中尾Ⅱ 12月1名転居
 ファミール森町 12月1名入居
 （中尾Ⅱより転居）
 ファミール森町 3月1名退去

月	延べ利用日数 (前年度増減)	月	延べ利用日数 (前年度増減)
4月	629 (+20)	10月	650 (+23)
5月	650 (+22)	11月	629 (+43)
6月	629 (+32)	12月	650 (+7)
7月	650 (+43)	1月	650 (+39)
8月	650 (+12)	2月	587 (+66)
9月	629 (+12)	3月	650 (+64)
		合計	7653 (+383)

短期入所事業ファミール

短期入所事業

利用者の身体やその状況に応じて入浴、排せつ、食事の介護を支援します

昨年に引き続きコロナ禍ではあったが、必要に応じて一泊から希望日数の連泊利用も受け入れることで定期的に利用していただく方が増え、安心してホームで過ごしていただくことができた。

①本人の状態に合わせた生活支援
 ■短期入所時に不安なこと等、気になることは相談を受け、一緒に考えることで安心して過ごせる環境づくりに努めます。

- 月一回の連泊利用に慣れて徐々に希望日数が増え、ショートを行うことで朝の生活リズムが整うようになり、朝からの日中活動の利用ができるようになった
- 短期入所利用時に、希望や気になる事・不安なことを聞いたり、利用者によっては顔見知りの入居者がいるホームを紹介し、安心して過ごすことができるように支援した。
- コロナ禍であったが外部の利用者1名受け入れができた。

利用定員等

	中尾	中尾Ⅱ	森町
定員	2	1	2
利用延日数	0	28	170
月平均	0.0	2.5	15.5

月	延べ利用日数 (前年度増減)	月	延べ利用日数 (前年度増減)
4月	17 (-1)	10月	15 (-24)
5月	21 (+2)	11月	18 (+4)
6月	32 (+4)	12月	26 (+7)
7月	33 (-43)	1月	8 (-22)
8月	16 (-6)	2月	9 (-9)
9月	3 (-22)	3月	10 (-14)
合計		208 (-124)	

療育センターカノン♪

障害児（者）地域療育等支援事業

通所等によるサービス利用が困難な方に対して訪問により療育等を提供することで、障害児（者）の福祉の向上を図ります

新型コロナウイルスが5類へと変わったが、引き続き感染防止対策に力を入れながら訪問療育活動を行った。各関係機関との連携を図りながら必要な方への支援につなげることができた。ケア会議にも出席し、関係者との情報共有やそれぞれの役割について確認し、利用者の支援につないだ。

①利用者一人ひとりの状況や気持ちに寄り添った療育活動の提供
◆今後の生活について一緒に考える

○通所や登校が難しい利用児・者が、まずは自宅で無理なく家族以外の人と一緒に療育活動に参加することで、少しずつ生活リズムが整ったり、体調が良い方向に変化したなどの成果が見られた。また、ご本人が好きな音楽や絵画の活動に、いきいきと意欲的に取り組む姿が見られた。
○ケア会議に出席し、家族や関係者と話し合うことで、ご本人の今後の生活やステップアップにつなぐための様々な方法について検討することができた。

②訪問療育事業の周知
◆他機関との連携を図ることにより、必要な方に情報が行き届くようにする

○相談支援専門員を中心とした、他機関との連携を図ることができた。放課後等デイサービスやヘルパー、訪問看護など多くの担当者との情報共有を大切にした。
○ケア会議等に積極的に参加し、それぞれの機関の役割について確認を行うことで、本事業がどのような事業なのか、その役割と意義について知っていただくことができた。

利用等実績

	男	女	計
実利用人数	3	1	4
平均利用人数	延べ5.1人/月 (昨年度3.8人/月)		
利用増減	増減なし		

延べ利用人数推移

